

文明開化の議事堂

20 歳になり選挙権を得てから、唯の一度も選挙を棄権したことは無い。たかが一票。されど貴重な一票である。選挙は国民、県民、市民の「義務」ではなく、よりよい政治を実現するために与えられた「権利」である。ゆえに私が信じ期待する政党なり人物に投票してきたつもりだ。時に死に票になることもあった。しかし当選してくれれば自分のことのように喜びを共有できた。

新潟県政記念館を訪ねた。ここは新潟県会議事堂として 1883（明治 16）年に、当時 3 万 7 千円の巨費を投じて建設されている。以来新設の県庁舎内に議場が移されるまでの 50 年余、県政審議に重要な役割を果たしてきた。



1975（昭和 50）年大規模解体復元工事を終え新潟県政記念会館として一般公開されている。明治の府県会開設期より唯一現存する議事堂の遺構として国の重要文化財に指定されている。ここは木造 2 階建、漆喰壁、屋上中央に塔屋をのせた左右対称の堂々たる擬洋風建築として、見る人の心を掴む美しいものである。

新潟の長い歴史の中で度重なる地震を経験している。更に豪雪、豪雨、洪水等の自然災害にも見舞われている。県会の采配は大事な役割を果たしてきたに違いない。また近年の北陸自動車道、関越自動車道、上越新幹線等の開通は明るいニュースとなっている。 撮影 2013 年春

